

## みやぎ復興パーク通信

みやぎ復興パーク活用レポート

# 障がい福祉サービス事業所 編

### 〈はじめに〉

現在、みやぎ復興パーク内には事業形態の異なる「障がい福祉サービス事業所」が 4 団体入居しており、各団体の特色と持ち味を活かした業務提携や人材交流等を活発に行って、相互補完しあう形で大きな成果を挙げている。

これまで運営母体の異なる障がい福祉施設が隣接して立地することや業務提携して協力し合うことは限られていた。しかし、復興パークでは「障がい福祉サービス事業所」が 4 団体入居し、それぞれの施設で不足する機能を他団体が補完し連携することで、新たなスケールメリットを活かした福祉サービスを障がい者に提供できるようになり、注目を集めている。今では、大手同業者に引けを取らないレベルでの障がい福祉サービスの実現が可能となっている。今回は、各団体の活動内容等を紹介するとともに、業務提携の状況についてレポートする。

## 1. 社会福祉法人嶋福社会障がい者自立支援施設さくらんぼ

### 〈事業概要〉

社会福祉法人嶋福社会障がい者自立支援施設さくらんぼ（以下「さくらんぼ」という。）は、生活介護、地域活動支援センター等を運営している社会福祉法人嶋福社会（塩竈市：平成 14 年 2 月設立）が復興パーク内で障がい者就労継続支援「B 型」事業\*を営む団体である。

施設内では、近隣の資源回収作業や古くなった給湯器の解体・分別作業のほか、同じく復興パークに入居している福島印刷工業株式会社（みやぎ復興パーク通信通巻第 3 号参照）から厚紙加工や印刷済みシールの袋詰め・梱包作業などを請負っている。一方では、一般社団法人 COM'S にチラシ印刷を発注するなどの業務提携を行っている。また、施設外就労として多賀城市市民活動サポートセンターや塩竈市の運送会社に出向いて清掃作業、草刈作業も行っている。

### 〈みやぎ復興パークへの入居〉

多賀城市栄で運営していたが、東日本大震災の津波により借用していた建物が全壊・使用不可となり、施設の再建場所を探していたところ、多賀城市から復興パークを紹介していただき、復興パークに入居を決定し、現在に至っている。

### 《さくらんぼからのご挨拶》

地域交流に努めるとともに、復興パークに入居されている障がい福祉サービス事業所との連携を大切にして、障がい者が働くことの楽しさを感じ、今後の生きがいに通じる活動を行っていきたいと思っています。また、将来的には自分たちの施設を再建することを目指しています。



## 2. 一般社団法人 MeiMarche

### 《事業概要》

一般社団法人 MeiMarche（以下「MeiMarche」という。）は、平成 24 年 9 月、後継者不足が課題となっている農業を障がい者が支え、日本の安全・安心な高品質食材の安定的な提供を目指して設立された障がい者就労継続支援「A型」事業\*を営む団体である。

施設内では、弁当の製造・販売、清掃業務を行うとともに、京都方面から受注した「美しいノート」やリースに使われるクラフト品の製造を行い関西の東急ハンズで販売している。

また、施設外就労として仙台市内の飲食店における調理補助、多賀城ファームや東松島ファームで農作業補助を行っている。

### 《みやぎ復興パークへの入居》

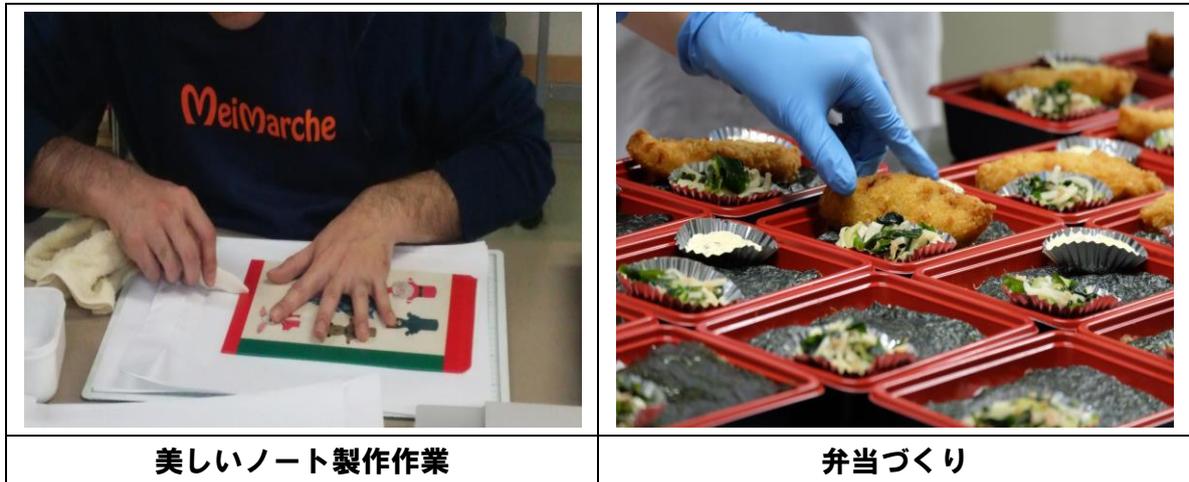
MeiMarche は名取市で開業したが、復興パーク入居企業との業務連携の推進、多賀城市及び近隣市町村在住の障がい者と震災被害者の雇用確保に貢献するため、復興パークに入居した。

復興パーク内施設に近隣支援学校の視察を受入れした際には、支援学校の先生方や生徒達が障がいを持つ人達が自分の能力（個性）を活かして明るく作業される姿に感銘を受けたとのことで、学校教育にも大いに貢献している。

### 《MeiMarche からのご挨拶》

多様な障害に対して、将来的に障がい者が一般就労に就けるように職員が全力で支援

していきたいと思います。復興パーク内の作業だけに留まらず、施設外就労の農作業にも注力し、現在の露地栽培から独自のビニールハウスの建設を目標とし、働く意欲と能力のある障がい者が「楽しく働ける社会」づくりを目指していきたいと思います。今後  
もご支援よろしく申し上げます。



### 3. 一般社団法人ステージパス

#### ＜事業概要＞

一般社団法人ステージパス（以下「ステージパス」という。）は、平成 25 年 5 月「暮らしに最低限必要な環境づくり、衣食住をテーマにそれぞれに関わる仕事をする」ことをコンセプトに、古着をネットや復興パーク内で販売するとともに、消火器、防災ラジオの防災用品をネットで販売している障がい者就労継続支援「A型」事業\*を営む団体である。

MeiMarche との連携により、施設内でマルシェを開店し舞台ファームグループ（㈱舞台ファーム、舞台アグリイノベーション㈱、㈱みちさき、e-フレッシュ㈱、㈱旬の風）との農業・福祉の連携「農福連携」で生産したトマトやキュウリを販売するなど、相互に交流も盛んである。

また、舞台ファームとみちさきからの作業請負で、野菜の加工補助、水耕栽培の補助作業を行っている。こうした「農福連携」が農林水産省「攻めの農林水産業～東北における先進事例～」や公益社団法人日本農業法人協会発行「アグリビジネス経営塾」に事例として掲載されるなど、全国的にも大きく注目されている。

#### ＜みやぎ復興パークへの入居＞

東日本大震災で被災した舞台ファームグループに、障がい者雇用と一般就労に向けた支援を目指していたステージパスが企業として参画し、復興支援に貢献することを目的に復興パークに入居を決定し、現在に至っている。

#### ＜ステージパスからのご挨拶＞

ステージパスの活動が事例として掲載されることに対し、全国の農業や福祉関係者が

興味を抱いています。今後は、この「農福連携」をさらに進歩させ、障がい者の作業スキルに合わせた循環型経済の活性化、作業の見える化に注力し、将来的には障がい者という言葉がなくなるようなボーダレスな温かい社会を実現していきたいと思いをします。



#### 4. 一般社団法人 COM' S

##### ＜事業概要＞

一般社団法人 COM' S（以下「COM' S」という。）は、平成 25 年 3 月、身体や精神障害等のハンディキャップを持つ方を対象に、就労サポートやスキルアップ事業としてパソコンの基本操作からイラストレータ、フォトショップ、ホームページ作成、動画編集など職員が専門的な操作を指導して就労までの一環した支援を行っているほか、工芸品から家電品に至るまで一部ネットオークションも行っている障がい者就労継続支援「B型」事業\*を営む団体である。COM' S では、就労移行支援でスキルを身につけた人を講師として採用、ハンディキャップを持つ人が他のハンディキャップを持つ人に教えるなど、他の訓練施設とは異なる取り組みを行っているのが特徴である。

また、毎年開催される宮城県障がい者技能競技大会「アビリンピックみやぎ大会」では、わずか数ヶ月の知識・技能習得で DTP 部門の金賞・銀賞をそれぞれ受賞、ホームページ部門でも銅賞を受賞するなど、関係者のモチベーション向上にも繋がっている。

##### ＜みやぎ復興パークへの入居＞

就労移行支援で施設を探していたところ、多賀城の復興パークを知り、近隣市町村の復興と障がい者支援を目的に最適な場所と判断して入居した。COM' S では、障がい者は施設に出勤することなく在宅勤務も可能であり、パソコン操作等で分からない場合はネットを通じて職員がその操作指導にあたっている。

##### ＜COM' S からのご挨拶＞

アビリンピックみやぎ大会での入賞は、受賞者本人だけでなく COM' S としても誇りに

思っています。ハンディキャップがある方々を支援し、社会貢献できる人材に育成するのが我々の使命です。今後ともご助言よろしく申し上げます。



**ホームページ作成・動画編集等**

**ネットオークション梱包風景**

所在地 多賀城市桜木 3-4-1 みやぎ復興パーク

事業所	入居年月・入居棟	従業員	TEL
社会福祉法人嶋福社会障がい者自立支援施設さくらんぼ	23年12月 H-24号館1F	25名	080-1662-1179
一般社団法人MeiMarche	24年9月 H-24号館1F	47名	022-352-8342
一般社団法人ステージパス	25年9月 H-24号館2F	31名	022-766-8805
一般社団法人COM'S	25年10月 F-21号館1F	32名	022-766-9373

**\*障がい者就労継続支援事業**

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業で、雇用契約を結び利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の2種類がある。

**【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】**

公益財団法人みやぎ産業振興機構 産学連携推進課  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号  
TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923

(みやぎ復興パーク・平成28年10月の状況)

○入居者数・・・・・・・・ 25団体 (入居率55%)